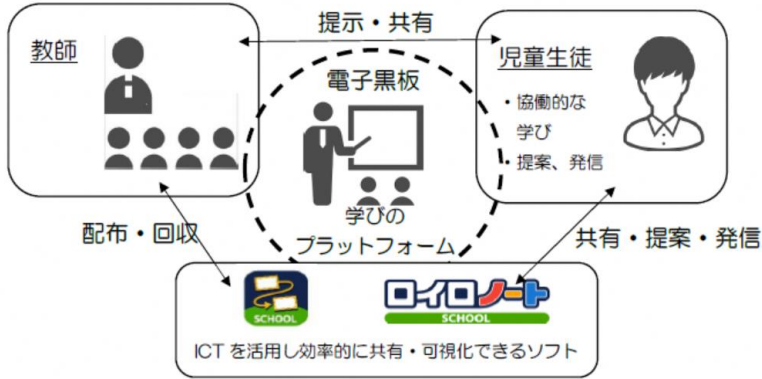
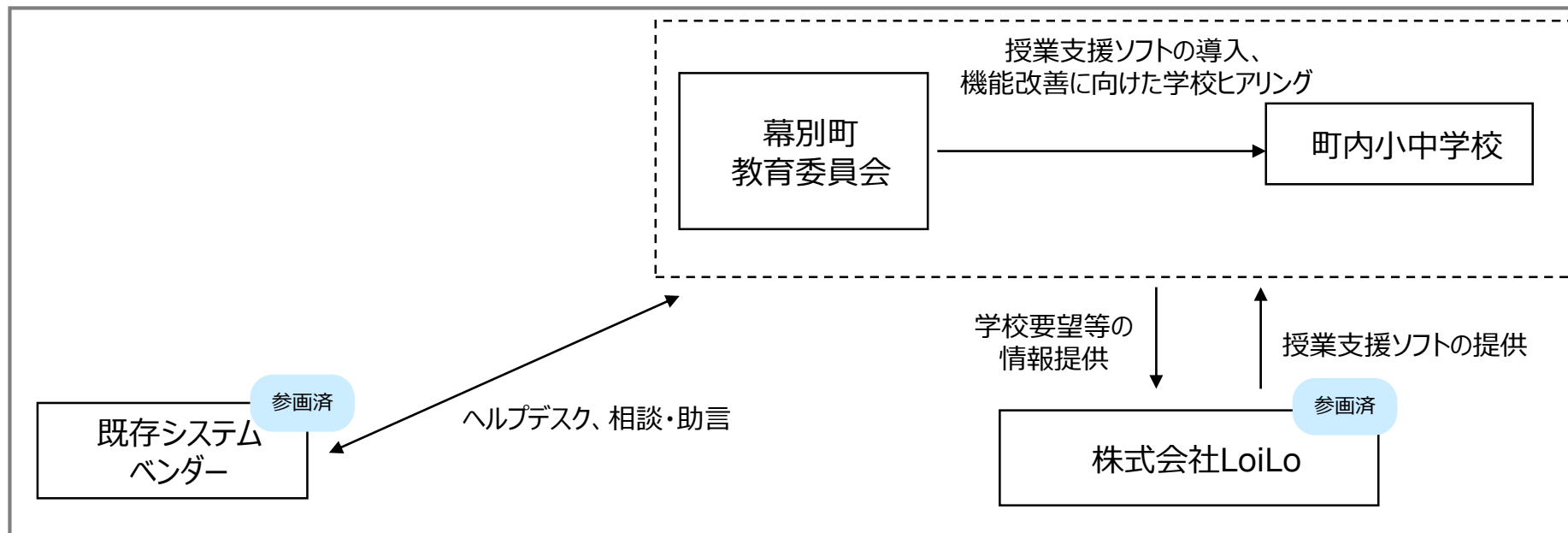


事業概要【教育DX推進事業】

自治体名	北海道幕別町	人口	25,303人	事業費	3,903千円
事業概要	本町の町内小学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率は、国語が全国平均を上回っているが、算数は4年連続全国平均を下回っており、本調査の問題別集計結果から、小学校・中学校共通して、「資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現する」ことが課題となっている。 その課題を解決するために、主体的・対話的で深い学びの実現、個別最適化学習の実現をすることで、学力の格差を縮め、全ての児童・生徒が適切な学習機会を得られるようにするため、授業中の教材や宿題等として児童に貸与しているタブレットに授業支援ソフト（ロイロノート）を導入し、協働的な学びを充実させることで、主体的・対話的で深い学びを実現し、新しいデジタル社会で活躍する人材を育成する。				
具体サービス	【授業支援ソフトの導入】 ●ロイロノート 対象学年：小・中学校全学年 内容：双方向的授業の実現、個性と学びあいを一体的に可視化する授業支援ソフト（ロイロノート）を導入する。また、教材配布と回収・回答を一覧にして共有し学びあう、児童生徒の協議をリアルタイムに共有、提案・発信のツールなどの活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を図る。		【授業支援ソフト】  The diagram illustrates the Royoro software system. It shows a central '電子黒板' (Electronic Blackboard) and '学びのプラットフォーム' (Learning Platform). Teachers (教師) interact with the system to '配布・回収' (Distribute/Collect) materials. Students (児童生徒) interact with the system to '共有・提案・発信' (Share/Propose/Share) ideas. The system is designed to be efficient and visible using ICT.		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①授業支援ソフトの使用日数割合		【アウトカム指標（成果指標）】 ①全国学力・学習状況調査：授業が分かると感じる児童生徒の増加		

推進体制

■ 事業推進体制



名称	役割
幕別町教育委員会	- 授業支援ソフト（ロイロノート）の導入 - 機能改善に向けた学校ヒアリング及び事業者への情報提供 - 利用ログから利用状況の確認
町内小中学校	- 授業支援ソフトによる学習の実施 - 町内小中学校の活用促進のための研修機会の実施

名称	役割
株式会社LoiLo	授業支援ソフト（ロイロノート）の提供
既存システムベンダー	- ヘルプデスク - ICT機器管理・保守、ネットワーク接続に関する問い合わせ・相談・助言